



KANDAI



STYLE



特集

関西大学のさらなる発展を目指して

## 41代学長に 楠見晴重教授が就任

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】  
関大生ケータイ・スマホ事情

【VIVA!学び場】商学部 商学基礎科目  
「国際協力論」長谷川伸 准教授

【働く関大人】出版業界／編集者  
株式会社一学舎 浅野弥三仁さん

【なるほど・ザ・関大!】  
昔々、千里山キャンパスは遊園地だった!?  
【今月のシンクさんアクトくん 関大生の友の輪】  
文学部3年次生 小島汀さん



関西大学のさらなる発展を目指して

# 41代学長に楠見晴重教授が就任

7月4日、楠見晴重学長の任期満了に伴い、次期学長を選ぶ学長選挙会が行われました。その結果、環境都市工学部の楠見晴重教授が再任。理事会でも承認され、10月1日付で学長就任となりました。そこで今回の特集では、第41代学長に就任された楠見教授に今後の抱負について語っていただきました。また、同じく10月1日付で就任した新役職者についても紹介します。



学長 環境都市工学部教授  
楠見 晴重

7月の学長選挙会において再選され、10月から引き続き四年間、学長として頑張ることになりました。

私は、昭和49年に関西大学工学部に入學以来、約40年間、学部、大学院、そして教員と、一貫して関大の道を歩んできました。

この間に会った先生方、先輩たち、職員の方々、そして友人たちに育てられ、守られ、生え抜きとしてここまでやってきました。つくづく、関西大学で生まれた縁に感謝し、後輩である学生の皆さんのために、そして関西大学のさらなる発展のために一生懸命働くことを改めて決意しています。

今、「縁」と書きましたが、最近、「学縁」という言葉に出会いました。学(まなぶ)に縁(え)にし、もともと存在する言葉ではないようですが、関西大学での出会いが結んだ縁、「学縁」という言葉の意味をかみしめています。

皆さんも、関西大学で出会った先生方、友人たちと結ばれた「学縁」をより深いものにすべく、今を大切にしてください。関大を離れて長い時間がたつほど関大で結んだ「学縁」にきっと感謝することになります。

「学縁」で結ばれた関大大人としての私たち、共に助け合い、励まし合って、成長していきたいですね。

### 楠見 晴重 教授の履歴

氏名	楠見 晴重(くすみ はるしげ)
学歴	昭和53年 3月 関西大学工学部卒業 昭和55年 3月 関西大学大学院工学研究科博士課程前期課程修了 昭和56年 12月 関西大学大学院工学研究科博士課程後期課程中途退学
職歴	昭和57年 1月 関西大学助手(工学部) 昭和62年 4月 関西大学専任講師(工学部) 平成 2年 4月 関西大学助教授(工学部) 平成14年 4月 ~19年 3月 関西大学教授(工学部) 平成19年 4月 ~現在 関西大学教授(環境都市工学部) 平成19年 4月 ~21年 9月 関西大学環境都市工学部長 平成20年 10月 ~21年 9月 関西大学大学院理工学研究科長 平成20年 10月 ~現在 学校法人関西大学理事 平成21年 10月 ~現在 関西大学学長

### 研究分野

地盤工学 工学博士(関西大学)

学外での主な役職  
文部科学省大学設置・学校法人審議会委員(大学設置分科会)  
一般社団法人日本私立大学連盟常務理事  
公益財団法人大学基準協会理事  
財団法人私立大学退職金財団評議員(他多数)

### 所属学会

土木学会(フェロー)  
地盤工学会  
日本材料学会  
物理探査学会  
岩の力学連合会  
日本地下水学会  
日本応用地質学会  
International Society for Soil Mechanics & Geotechnical Engineering(国際地盤工学会)  
International Society for Rock Mechanics(国際岩の力学会)

### 副学長



総合情報学部教授  
きたに しんいち  
木谷 晋市



経済学部教授  
はやし ひろあき  
林 宏昭



システム理工学部教授  
まえだ ゆたか  
前田 裕



法学部教授  
よしだ えいじ  
吉田 栄司

### 学長補佐



化学生命工学部教授  
あおた ひろゆき  
青田 浩幸



法学部教授  
にしむら えみ  
西村 枝美



外国語学部教授  
やまもと えいじ  
山本 英一

### 学部長・研究科長・専攻長



法学部長・  
法学研究科長  
くすのき かずゆき  
葛原 力三



文学部長・  
文学研究科長・  
東アジア文化研究科長  
かしのわぎ たみひろ  
柏木 治



経済学部長・  
経済学研究科長  
うしむら けんじろう  
植村 邦彦



商学部長・  
商学研究科長  
たかや たかよし  
高屋 定美



社会学部長・  
社会学研究科長  
おかわ ひろし  
小川 博司



政策創造学部長・  
ガバナンス研究科長  
こいしひでゆき  
小西 秀樹



外国語学部長・  
外国語教育研究科長  
たけうち あつひろ  
竹内 理



人間健康学部長  
はたなか かよこ  
狭間 香代子



総合情報学部長・  
総合情報学研究科長  
ほり まさひろ  
堀 雅洋



社会安全学部長・  
社会安全研究科長  
おさだ まさもろ  
小澤 守



システム理工学部長  
たかなが のりあき  
多川 則男



環境都市工学部長  
かわひら けんじろう  
河井 康人



化学生命工学部部長・  
理工学研究科長  
よしだ じゅんひろ  
吉田 宗弘



心理学研究科長・  
心理学研究科  
心理臨床学専攻長  
てらしま しげのぶ  
寺嶋 繁典



法学研究科長  
きのした さとし  
木下 智史



会計研究科長  
とみた さとし  
富田 知嗣

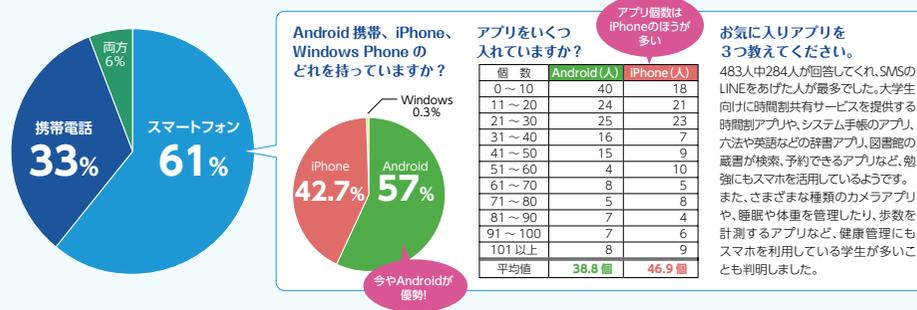
# みんなで一緒に考えよう。関大誌上教室

## 関大生ケータイ・スマホ事情

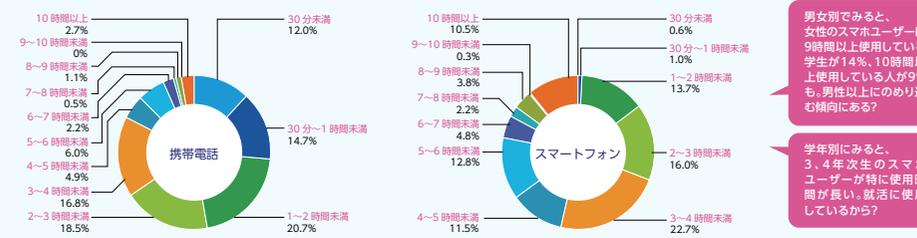


皆さんはケータイ派？それともスマホ派？  
今や日本人の5人に1人がスマートフォンを持っていると言われる時代、  
今回の誌上教室では、携帯電話とスマートフォンに関するアンケートを実施しました。  
【アンケート期間：7月3日～7月27日 対象：関大生 回答者数：483人（男子：41.4% 女子：58.6%）】

### 1 携帯電話とスマートフォン、どちらを使っていますか？



### 2 1日に端末を使用している時間はトータルで何時間くらいですか？



OPINION OF PROFESSOR  
社会学部 富田典英教授

昨年度の国内の携帯電話市場におけるスマホの販売台数はNTTドコモとKDDIとも2010年の約4倍にまで拡大しています。また、国内のスマホシェアは25%前後にまで増加しています。それに対して、今回の調査では、関大生のスマホのシェアが61%に達していること、mixiからLINEへの人気の移行、

インストールしているアプリの多さなどが明らかになり、関西大学のキャンパスにはいち早くスマホ時代が到来していることが分りました。この分野の研究は、ポケベルや携帯電話がどの分野で普及し、どんな機能が利用されているかなどの調査から始まりました。その後、スマホが普及し始めると状況は複雑になります。その理由は、使用するアプリによって分野や機能が拡大し多様化し高度化しつつあり、通話という基本的な機能さえ多くのアプリの中の1つとなり始めたからです。この動きはさらに加速するでしょう。今後の動きに注意してほしいと思います。

### 3 よく使う機能・サービスは？



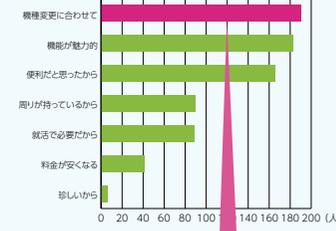
総じてスマホユーザーの使用率が高い。顕著なのが、LINEなどのSMSの普及。いまや、mixiよりもLINEが人気のよう。また、カメラを使用している人は男女別でみると、女性のスマホユーザーが、「よく使う」「時々使う」をあわせると95%以上と最多！

### 今後スマホがますます普及することで、日本の将来はどうなると思いますか？

学部	学年	性別	携帯 or スマホ	今後
法務	3	男	スマホ	スマホがさらに多機能化し、身分証明がスマホ1つで済むようになる。
法務	3	男	スマホ	コピキラス社会が進むとは思いますが、それによって社会に変化が生ずることはないと思う。日本の場合、著作権法の制限が特に強く、コンテンツ利用のみならずクラウド化の障害になる可能性が高いため。
法	2	男	両方	スマホを使いこなせる人と使いこなせない人の間で格差が生じる。
法	3	男	スマホ	授業が一歩ネットに配信されるなど、大学の授業形態にも変化が現れるのではないかと思う。
文	1	男	携帯	本質的に何も変わらないと思います。
経	3	女	スマホ	あれば便利だけど、なくてもなんとかなるんだ、という意味をみんなが持つようにならないと、スマホがなければ何もできない人間関係になってしまいたいそうでは無い。
政	4	男	携帯	マス媒体での広告の時代から、より効率的に伝えられるようになり、人々の趣向がさらに細分化され、大量生産・大量消費の時代が終わる。
外	1	女	スマホ	活字離れやネット犯罪の増加などマイナス面と、幼い頃から国境を越えた交友関係を築くことが可能になり、多角的な考えを身に付けることができるなどのプラス面も出てくるのでは。
シ	理4	男	携帯	誰もが簡単に情報を収集、発信できるようになるので、より高いリテラシーが要求されるようになる。
環	都4	男	スマホ	行動する過程のほとんどでスマホが使われるようになったため、自分で考えて行動する機会が減っている。自分が実際に持ってみて、電話と少しメールができればよいので、携帯電話で十分だと思っている。

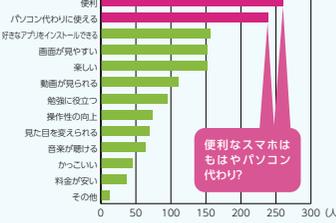
### 4 スマホユーザーに聞く！

#### ④ スマホを買ったきっかけは？

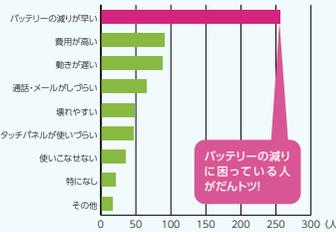


機種変更に合わせてグラフ。ちなみに「次、買い替えるとしたら・・・」の質問では60%の人がスマホ、28%が未定、携帯は10%、買わないが2%に。これからますますスマホの時代がくる？

#### ⑤ スマホを買ってよかったことは？



#### ⑥ スマホを買って悪い点は？



次号のテーマは…  
「健康のために何か気を付けていることはありますか？」  
ロンドン五輪での日本人選手の活躍も記憶に新しいですが、トップアスリートがハイレベルなパフォーマンスを行えるのも、健康管理に気を使っているからこそ。充実した学生生活にも健康は欠かせません。そこで11月号では、関大生の「健康観」をリサーチします。

10月号「関大誌上教室」アンケートプレゼント当選者の発表について  
今号の「関大誌上教室」アンケート「関大生ケータイ・スマホ事情」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(10月1日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定です。ご協力をよろしくお願い致します。



出版業界／編集者

株式会社一学舎

## 浅野弥三仁さん

兵庫県立宝塚西高等学校出身  
1995年法学研究科前期課程修了

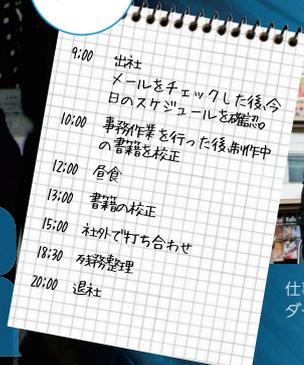
最初の読者として、著者の考えがより  
分かりやすくなるよう心掛けています。

主に法律や教育関係を中心に社会科学系の書籍などを出版している一学舎。2007年にこの会社を立ち上げた浅野弥三仁さんは、企画の立案から内容の編集、原稿依頼から校正作業、スケジュール管理など、本を制作する上で必要な全ての工程に携わっています。浅野さんは、約10年間勤めた京都の出版社を退社した後、それまでに仕事を通じて培ってきた人脈を生かして起業されました。通常、企画の段階から最低でも2年を要する学術書の出版ですが、一学舎ではすでに10冊以上の書籍を発行しているそうで、「スケジュールによっては、複数の企画を同時に動かしていることもあります」と浅野さん。専門家や大学の先生など、たくさんの人たちが携わる学術書の制作においては、何よりもスケジュール管理が特に気を使う点だといいます。

こうして手間暇かけて制作した書籍を最初に手にしたときの感動は何ものにも代え難いのだとか。また、大学のキャンパスや電車の中などで、自分が手掛けた書籍を読んでいる人を見かけると、「次も頑張ろう」という気持ちが湧いてくるそうです。

「仕事を通じてたくさんの人と出会えることが何より楽しいし、独立してからはより一層人とのつながりの大切さを痛感しています」と語る浅野さん。「移り変わる社会の動向を捉えて、著者や読者のニーズに応えられるような本を創っていききたい」と最後に今後の目標について語ってくれました。

ある1日の  
スケジュール



仕事で使用するアイテム。取材や打ち合わせが多いので、ボイスレコーダーは常に持ち歩いています。

# VIVA!!

## 学び易



商学部 商学基礎科目

## 「国際協力論」

長谷川伸 准教授

### 国際協力に必要な視点や姿勢を理解し、 国際協力観を深める。

飢餓や貧困などの人類共通の課題を解決する国際協力は、  
実は自分たち一人ひとりに直結していることに気付く。

飢餓や貧困、紛争、環境破壊、エネルギー危機などの人類共通の課題に、各国政府や国際機関、NGOが連携し国境を越えて取り組む「国際協力」。授業では、さまざまな国際協力のカタチを知り、国際協力に必要な視点・姿勢・能力を理解することで、国際協力観を深め豊かにすることを目指しています。

国際協力論は200人近い学生が受講する授業でありながら、学生参加型の双方向の授業形式を積極的に取り入れています。授業が始まると学生たちはいくつかのグループに分かれて、与えられたテーマについてディスカッションを行います。グループディスカッションに加えて、時にはゲーム形式の課題などもあって、全ての受講生が積極的にグループワークに参加できるよう、さまざまな工夫が施されています。

このような授業の中で各学生の学びを知るためのツールとして使われているのが「要点ラベル」と「感想ラベル」です。学生たちは毎回、授業の要点と感想をラベルに記入して提出。集められたラベルをもとに、先生と授業の進行をサポートしているラーニングアシスタント、学生の有志からなる運営委員で振り返りミーティングを開催し、今回の授業の反省や今後の授業の進め方について検討していきます。

授業を通じて学生たちは、国際協力とは遠いようで実は誰にとっても身近な出来事で、生活にも大きく関わってくる自分たちの問題であることに気付くといえます。そのような気付きからスタートして、最終的には自分のこれからの生き方を考えるきっかけになってほしいと長谷川先生は語ってくれました。



西宮真紀さん(2年次生)

以前から国際協力が興味があったのでこの授業を選択しました。このような授業形態は初めてだったので、グループワークのおかげで毎回楽しみながら学んでいます。



梅澤友祐さん(2年次生)

難しい問題と捉えがちな国際協力ですが、身近な問題からスタートしてくれるので、とても分かりやすいですし、世界へと目を向けるきっかけになる授業だと思います。

商学部  
長谷川伸 准教授

今の学生たちの国際協力観(国際協力とはどういうものか)は、半世紀以上前のものです。この授業を通じて今日の国際協力の到達点に見合った国際協力観を身に付けてほしいし、国際協力を自分自身の問題として捉えられるようになってくれればと考えています。



# 昔々、千里山キャンパスは遊園地だった!?

今回の「なるほど・ザ・関大!」は、千里山キャンパスにスポットを当てお届け。  
キャンパスが設立される以前の姿や、周辺の様子など、その歴史を振り返ってみたいと思います。

## 遊び場から学び場へ、遊園地跡がキャンパスに

広大な千里山キャンパスの南部分、この地にはかつて「千里山遊園」と呼ばれる遊園地が存在していました。「千里山遊園」は1920年(大正9年)に北大阪電気鉄道により「千里山花壇(その後、千里山遊園と改称)」として開設され、人気を集めました。しかしながら、戦争の激化に伴って一時休園。戦後に再開されたものの、入場者数が減少し、1950年(昭和25年)に閉園されました。



子どもたちに大人気だった飛行塔



当時の千里山遊園の地図

当時の千里山遊園を描いた絵を見てみると、現在の第一高等学校、第一中学校から関西学会館、100周年記念会館、さらには社会学部学舎がある丘陵部一帯が、かつての「千里山遊園」だったことがうかがえます。



千里山遊園運動場

関西大学はこの土地を譲り受け、1951年(昭和26年)に幼稚園、さらには高等学校や中学校の校舎を建設。遊び場から学び場へと姿を変えていったのでした。



千里山遊園のチラシ

## 2つの駅が統合して生まれた「関大前」駅

皆さんが普段通学に利用している阪急「関大前」駅。昔は「大学前」駅という名称でした。阪急千里線の前身は、1921年(大正10年)4月に十三―豊津間で営業運転を開始した北大阪電気鉄道です。同年10月に豊津から千里山まで延伸されますが、翌年4月、千里山学舎開設に伴い「大学前」という駅が設置されました。「大学前」駅は、現在のボウリング場の前付近に位置しており、「大学前」の1つ淡路寄り「花壇町」という駅でしたが、この駅があったのは、関西大学幼稚園の前辺りです。

「大学前」駅は、1964年(昭和39年)に駅間距離の見直しが行われた結果、「花壇町」駅と統合され、両駅の間地点に現在の「関大前」駅が設置されました。



「花壇町」駅



「大学前」駅

### 「千里山遊園」を調査した学生さんに聞きました!

#### 「千里山遊園」の歴史を掘り下げて番組を制作 社会学部 4年次生 森村結さん

3年次生で受講していた関西テレビ連携講座の中で、番組内の1つのコーナーをチームごとに制作するという課題がありました。そのテーマを考えていたときに、「千里山キャンパスは遊園地だった」という話を思い出して、「このテーマを掘り下げて番組にしてみよう」と決まったのが調査を始めたきっかけでした。図書館で資料を探したり、地元の人や大学の先生にインタビューしたりと、調べていく中でいろいろなお話が分かったのですが、なぜ潰れたのかという理由が、現在の「ひらかたパーク」にあたる「枚方遊園」の菊人形が復活して入園者数が減少したからという話には驚きました。時間的な制約もあって番組作りは大変でしたが、最終的には良い作品に仕上がりましたし、知らなかった母校の歴史に触れたのでいい経験ができたと思っています。





文学部3年次生

# 小島汀さん

震災で学んだことを伝えていきたい。



## ウガンダエイズ遺児支援活動

2011年の春、あしなが育英会を通じてアフリカ・ウガンダでのエイズ遺児支援活動に参加した小島さん。現地の小学校で子どもたちと触れ合い、ホームステイで現地の人の暮らしを経験するなど、貴重な体験ができたといいます。

次号では、小島さんからのご紹介でプロスケーターの中村友彦さん(文3)が登場。お楽しみに!

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災。当時3歳だった小島汀さんは兵庫県芦屋市の自宅で被災し、お父さんを亡くされました。現在は、震災遺児としてこれまでに体験したさまざまな出来事やその経験を通じて自身が感じたことを、地元の小学校や中学校などで語り部として伝える活動を行っています。3歳だった震災当時の記憶は鮮明ではないものの、その後に経験したこと、どんなときも周りの人たちが支えてくれたこと、多くの人との出会いが自分を成長させてくれたことなどを語っているそうです。

「震災から17年がたった今、自分たちが住んでいるこの街で大きな地震があったことを子どもたちに知ってほしいですし、みんなが辛い経験乗り越えて今を強く生きていることを、私の経験を語ることで伝えられればと思っています」。講演後、学校から送られてくる生徒たちの感想文に書かれた「大震災のことを知れて良かった」「強く生きている姿を見て勇気もらった」という文章に、逆に励まされることも多いといいます。

こうした語り部としての活動以外にも、小島さんは東日本大震災や新潟県中越地震、中国・四川大地震など、国内外の被災地を訪れてボランティア活動に取り組んできました。

「震災を経験した私が、今こうして元気に生きている姿を見て励まされたと言っていただけのこともありました。これまで多くの人に支えられて勇気付けられたので、今度は私が誰かを支えることができればと思っています」。そんな小島さんは現在、関西大学で「考動」する仲間ときっかけをつくる、学生団体「シンクxアクト」に参加中。関西大学をますます盛り上げたいと語ってくれました。

Migiwa Ojima

# 学部・研究科トピックス

## 法学部 / 法学研究科

### 1年次生対象学習指導

法学部では、9月下旬に1年次生対象の学習指導を行っており、例年60人程が対象となります。出席不十分、事情で試験を受けなかった者、学習方法が分からず試験準備ができなかった者、高校と比べて難しい内容に戸惑いを感じ、単位を取れなかった者に大学での勉強についての教学主任から全般的なアドバイスをします。その際に提出される感想文には、勉強に対する姿勢を改めたい、部活やアルバイトの時間を適切に管理して勉強に取り組みたいなど、前向きで期待できる決意が多く見られます。

(浦東久男教授)

## 文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

### 湯浅誠×津田大介初対談@文学部

去る7月6日、社会活動家の湯浅誠氏、ジャーナリスト/メディア・アクティビストの津田大介氏をお迎えした初対談「自分で動く 社会を動かす」が、文学部学術講演会の枠組みで、千里ホールで開催されました。400人を超える来聴者を集めた盛会となり、現代の日本が抱えるさまざまな問題、それをわれわれ自らが変えてゆく可能性をめぐって、それぞれの世界で活発な活動を展開している両人の間で意見が交わられました。以下のウェブサイトで当日の様相を閲覧することができます。

http://www.ustream.tv/channel/aihofund  
(大久保朝憲教授)

## 経済学部 / 経済学研究科

### 外に出よう、世界に目を向けよう

10月から学部長に就任しました。最近気になるのは、学生が少し内向きになっていることです。自己啓発や自己分析もいいですが、自分を磨き育ててくれるのは、人と関わる具体的な経験です。自己啓発本や就活マニュアルをいったん閉じて外に出て、人の話を聞きましょう。思い切って国際化プログラムや語学セミナーにも参加してみましょう。大事なのは語学力ではなく、人の話を聞き自分の意思を伝えようとする努力それ自体です。

(学部長 植村邦彦教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

## 商学部 / 商学研究科

### アントレプレナー・セミナーとKUBIC本選会開催!

10月2日(火)13時からBIGホール100で、ベンチャー起業家の上村英樹さん(株式会社スペース代表取締役社長)によるセミナー「近未来のビジネスはこう変わる!~100年愛される企業のビジネス発想法~」を開催します。また10月6日(土)には12時30分から同ホールにてKUBIC2012が開催されます。応募総数845点から選ばれた10件のプレゼンテーションに挑戦する学生を応援する体制を作っていきたいと思っています。「スマホ」に変えるだけじゃ駄目ですよ。

## 社会学部 / 社会学研究科

### 外から日本を見てみよう

「ガラケー」という言葉は聞いたことがありませんよね。「ガラパゴス・ケータイ」の略語です。「ガラケー」は日本社会の「ガラパゴス化」の象徴であり、日本の文化、社会を考える上で格好の題材です。近年、海外旅行や留学への関心を示す学生が少なくなってきたという理由です。「ガラパゴス化」した日本に安住せず、視野を広げることに挑戦する学生を応援する体制を作っていきたいと思っています。「スマホ」に変えるだけじゃ駄目ですよ。

(学部長 小川博司教授)

## 政策創造学部 / ガバナンス研究科

### 「17文字の絆」を制作・上映

9月9日、学部生・院生6人が制作したドキュメンタリー「17文字の絆」の上映会が、大阪市中央区のスポートプラザ大阪で行われました。この作品は、「福島県民の素顔や声を記録し、多くの方々に見てほしい」という思いから、津波や原子力災害、復興への思いを川柳に詠む現地の人々を学生たちが撮影しまとめたもので、昨年から続く活動の一環です。上映会には、地元商店主川柳愛好家など若者男女が来場、熱心に映像を見ていました。参加した学生の一人は、「震災の事を忘れないよう今後も活動を続けたい」と話していました。

(深井龍雄教授)

## 外国語学部 / 外国語教育研究科

### フランス語はいかが?

英語がちまたに溢れる時代になりました。他の外国語もあちこちで聞こえます。フランス語ももちろん聞こえます。フランス語は美しい言葉と言われています。本当に美しいと思えるのか、できるだけたくさんの人に直接聞いてみてほしいのです。私は美しいと思います。だから発音の練習をたくさんして、それでももっと知りたくて音声学を専攻しました。分析すると母音の数が多いため変化が穏やかで、子音がきれいに対になっているから調和のとれているのです。つまりフランス語のいい言葉なのです。

(菊地敬子教授)

## 人間健康学部

### 活気あるキャンパスを目指して

学部新設から2年半が経過し、引き続き学部長を務めることになりました。弊キャンパスは現在3学年がそろい、キャンパスも活気づいています。また、今夏のロンドンオリンピックには、3年次生の東佳弘さんが陸上競技のリレー選手として選ばれ、弊キャンパスを盛り上げてくれました。学部からのオリンピック選手の誕生は、これから続く後輩にも励みになることでしょう。新学部ゆえの課題も多々ありますが、皆さま方のご協力をいただき、活気ある学部づくりができればと願っています。

(学部長 狹間香代子教授)

## 総合情報学部 / 総合情報学研究科

### 第2回総情写真展を開催します

昨年に引き続き、高槻キャンパスで撮影した写真作品を公募・展示する「総情写真展」を開催します。高槻キャンパスに関わる人なら誰でも応募可能。撮影はデジタルカメラから携帯カメラまでOK、コラージュ作品など総情写真ならではの、普段は見ることができない高槻キャンパスの美しい景色など、力作を期待しています。応募は10月12日(金)まで、展示期間は10月22日(月)から11月2日(金)までです。



## 社会安全学部 / 社会安全研究科

### 新学部長からのメッセージ

本年4月に社会安全研究科に博士課程後期課程が開設されました。東日本大震災や福島原発事故からも明らかとなってきた社会安全問題はさまざまな事象が絡み合ったもので、一面的なアプローチだけでは解決できません。問題解決には最適解のないところに解を求めるチャレンジ精神と、多面的な問題解決能力が必要とされています。後期課程が開設されたことにより、このような社会安全問題の研究・教育体制構築のための基盤整備ができたと考えています。

(学部長 小澤守教授)

## システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

### 新学部長紹介

「温厚篤実」  
多川剛新システム理工学部長は、民間企業での経験を重ねた後、本学に赴任しました。専門は機械工学で、情報記憶におけるマイクロメカトロニクスに関する研究を精力的に進めており、その成果は高い評価を受けています。一方、システム理工学部発足以来、さまざまな経験に裏打ちされた卓越した構想力・調整力を発揮し、副学部長を2期務めました。温厚篤実で信望も厚く、今回、圧倒的な支持を得て学部長に選任されました。この「不確実な時代」を乗り越え、次代の発展の基礎を築く学部長として期待されます。

国際化を牽引できる逸材、内外から厚い信望  
河井康人新環境都市工学部長は、環境都市工学部が誕生して、副学部長を3期にわたり歴任しました。河井教授の仕事ぶりは内外から厚い信望があり、その抜群の国際力・企画力・調整力は常に高い評価を受けています。専門は建築音響工学、中でも境界要素法(BEM)を用いた音場解析を得意とし、海外との共同研究の実績も多い国際派の研究者です。教育・研究活動も活発で、2012年日本音響学会環境音響研究賞受賞、その他学術論文、特許の数も多いです。温和な人柄で、理工系学部の改組以来、満を持して学部長に就任しました。

卓越したバランス感覚でさらなる発展  
吉田宗弘新化学生命工学部長は、学部発足から5年がたち、第2段階となる時期の第3代学部長となりました。これまで、2期にわたり副学部長兼副学部長として大学院の運営に手腕を発揮し、今回、高い評価・信頼を受け、学部長と理工学研究科長を兼任します。専門は栄養学で、ミネラルや微量元素に焦点をあてた研究を推し進めており、全学的な教養教育についても造詣が深く、全学共通教育部門委員会委員長に就任した実績もあります。学部および大学院の教育・研究活動を、優れたバランス感覚と誠実な人柄で牽引することが期待されます。

## Attention 大学からの重要なお知らせ

### 地震避難訓練「関大防災 Day 2012 ~広がれ!みんなの安全・安心~」を実施します

10月26日(金)、関西大学全キャンパスで、学生・教職員が参加する大規模な地震避難訓練を行います。今年は初めて全キャンパスで同時に開催し、避難訓練以外にも、防災に関するさまざまなイベントを併せて行います。積極的に参加しましょう。

- 1. [日時]  
平成24年10月26日(金)  
11時40分~16時10分(雨天決行)
- 2. [実施対象者]  
関西大学全キャンパスの学生・教職員
- 3. [対象キャンパス]  
千里山・高槻・高槻ミューズ・堺の各キャンパス
- 4. [主な実施内容]  
◎地震避難訓練(11:40~12:10)  
授業中に地震音を放送。その後、授業担当者が各避難場所まで誘導します。避難場所に安全確認シートを記入・提出し、各自解散です。  
◎東日本大震災特別講演会(14:40~16:10)  
会場:千里山キャンパス(深風館4階ミーティングルーム(他キャンパスは同時中継します)  
大槻町役場 総務部長 平野公三氏による講演会。東日本大震災の巨大津波に直撃された大槻町役場では、当時の町長ら職員40人が死亡・行方不明となりました。町長職務代理者として町役場の再建を最前線で支えた平野氏による貴重な体験講演です。

## 専門職大学院トピックス

### 法科大学院

平成24年司法試験において、本学法科大学院修了生22人が合格しました

9月11日に平成24年司法試験の合格発表が行われ、本学法科大学院修了生22人が合格しました。本学法科大学院修了生のうち、184人が受験し、短答式試験合格者が105人、最終合格者が22人(男性14人、女性8人)という結果となりました。全国74の法科大学院のうち、合格者数22人は19位(私学順位10位)となっており、初の修了生を輩出した平成18年以降、毎年約20人以上の修了生が合格しています。9月28日に新阪急ホテルで開催された合格者祝賀会では、理事長・学長をはじめとする来賓の方々、また、本学出身の法曹で組織されている関大法曹会の諸先輩方から祝辞をいただきました。司法試験合格実績などについては、法科大学院ウェブサイト(http://www.kansai-u.ac.jp/ls/index.html)にてご確認ください。

## 併設校トピックス

### 関西大学第一中学校・第一高等学校

#### 関西大学第一高等学校が

#### 「実践的英語教育プログラム」を実施

第一高等学校では、今年度から、大阪府が行う「実践的英語教育強化事業」の取り組みとして、「実践的英語教育プログラム」を実施しています。このプログラムは大阪YMCAランゲージセンターと提携し、5月から10月末までの半年間、それぞれの英語力に合わせた少人数クラスでTOEFL iBTテスト(英語圏留学用英語力測定テスト)対策講座を開講し、11月に実施するテストを受験するものです。受験者のスコア平均が大阪府の定める基準値を上回れば、大阪府から助成金が交付されます。参加者277人一人ひとりが実践的英語力の向上を目指して学習を進めています。



#### <防災>

- ◎防災啓発ブース
- ◎普通救命講習会
- ◎煙体験
- ◎水害時避難訓練
- ◎消火栓・消火器体験
- ◎避難器具体験
- ◎エレベーター閉じ込め救出訓練

(各キャンパスにより実施内容・時間が異なる可能性があります。詳細はインフォメーションシステムで確認してください。)

# 関大トピックス

## 春学期卒業式及び学位(修士・専門職)記授与式・学位(博士)記授与式、秋学期入学式を挙行

9月18日10時から100周年記念会館で、春学期卒業式および学位(修士・専門職)記授与式と学位(博士)記授与式が行われ、13時からは秋学期入学式が挙行されました。

春学期学部卒業生は157人、大学院博士課程前期課程修了生は20人、専門職学位課程修了生は16人、博士課程後期課程修了生は12人、論文博士は2人でした。

また、秋学期入学生は、総合情報学部3人、文学研究科10人、東アジア文化研究科6人、外国語教育学研究科2人、理工学研究科1人で、新たな学びをスタートさせています。



春学期卒業式および学位記授与式



秋学期入学式

## 留学生別科秋学期入学式を挙行

9月21日15時から、南千里国際プラザで留学生別科秋学期入学式が挙行されました。秋学期は、中国、台湾、アメリカ、ベトナムなど7カ国・地域49人が入学。新入生たちは、希望に溢れた新生活の第1歩を踏み出しました。



留学生別科秋学期入学式

## タバコに関する標語・ポスターの授賞式を開催

千里山キャンパスで7月17日、「タバコに関する標語・ポスター」受賞作品の授賞式を開催しました。「標語の部」と「ポスターの部」からそれぞれ最優秀賞1作品、優秀賞5作品が選ばれました。関西大学では、昨年10月1日より、大学の敷地や施設内(個人研究室・共有スペースを含む)で、指定喫煙所以外を全面禁煙とする「完全分煙化」へ移行しました。5年以内にこれらの喫煙所も撤去し、全面禁煙を実施することを目標としています。

●標語の部 最優秀賞(文学研究科M1生 松永ざん子さん)

## 『禁煙マナー守ってこそ社会人』

●ポスターの部 最優秀賞  
(社会学部3年次生 首藤直哉さん)



## 商学部の圓尾紀憲さんが

### 日商簿記検定で最優秀者表彰

日本商工会議所が5月31日に開催した平成23年度の各種検定試験最優秀者の表彰式において、圓尾紀憲さん(商3)が簿記検定1級試験の最優秀者として表彰されました。圓尾さんは昨年11月20日に実施された第129回の簿記検定1級試験を受験し、受験者数19,078人(実受験者数14,731人、合格者数1,919人)の中で、見事トップの成績で合格。「このような名誉ある賞をいただいたことを誇りに、今後の公認会計士の勉強につなげていきたいです」と表彰の喜びを語っています。



表彰式にて岡村正会頭と(提供:日本商工会議所)

## 体育会陸上競技部・東佳弘さんが ロンドンオリンピックに出場

8月9日、ロンドンオリンピック陸上男子4×400メートルリレーに、体育会陸上競技部の東佳弘さん(人3)が第3走者として出場しました。予選第2組で6位となり、惜しくも決勝進出は果たせませんでしたが、千里山キャンパスでは応援会が開催され、約200人の参加者は力強い声援を送りました。



応援会の様子

## 体育会空手道部の清水希容さんが 世界大学空手道選手権大会で優勝

7月13日、スロバキアで開催されたFISU第8回世界大学空手道選手権大会において、体育会空手道部の清水希容さん(文1)が女子個人形の部に出場し、優勝しました。清水さんは、4月29日の第46回関西学生空手道個人選手権大会と7月1日の第56回全日本学生空手道選手権大会の優勝に引き続き、今季3度目の優勝です。



左から2人目が清水さん

## 関大人 四方山話 ◆「日本語を通して国際貢献を」 外国語学部 望月通子 教授



私の所属する外国語学部では、2年次に全員海外留学をします。日本語教育を専門とする私にとって嬉しいことは、外国語の運用力強化や異文化理解の深化に加え、日本語や外国語としての日本語教育に強い関心を抱いて帰国する学生が増えていることです。留学先で出会った日本語学習者の運用力が学習期間に比べ高いこと、日本人なのに彼らの質問に的確に説明できず歯がゆい思いをしたことなどを背景に、もっと日本語を究めよう、日本語を通じた国際貢献の道も探ってみようという思いに至る学生もいます。私自身

も、在外研究の折に、英米仏独国の他にいろいろな国が自国の言語や文化の普及に多額の資金や人材を投じていることを実感しました。

来春、外国語部に日本語教師養成講座が設置されますが、本学には702人の留学生がおりますので、皆さんも対話を通して互いの言語を協力し合いながら双方向に学ぶタンデム学習や、留学生別科の日本語パートナーなどに参加して国際交流、国際貢献を実体験してみるのも一案かもしれません。

## 編集後記

今年1月にリニューアルをした「関西大学通信」。でも今月号もちょっとだけリニューアルしていることに、皆さんはもう気付きましたか?実は今月号から、関大通信のニックネーム「KANDAI STYLE」の文字が表紙を飾っています。たくさん応募の中から選ばれたステキなニックネーム「KANDAI STYLE」には、学生一人ひとり違うものがあり、その自分らしさを失って欲しくないという思いが込められています。皆さんもぜひ、気軽に「KANDAI STYLE」と呼んでやってください! (広報課 保呂篤志)

今月の表紙:大槻淑子さん(商3)、大山成一さん(法3)、小阪怜志さん(法3)、坂井秀行さん(法3)、田口一貴さん(法3)、バク ハナルさん(交換留学生)、福重大倫さん(商3)、福森健人さん(法3)、堀口奈津希さん(法3)、水野公樹さん(法3)、山野瞳さん(法3)

## KANSAI Univ. NEWS

発行日:2012年10月1日(年9回発行) 発行:関西大学広報委員会 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 電話:06-6368-1121(大代表)



関西大学は  
大阪マラソン2012のオフィシャルスポンサーです。